

JICA「気候変動への適応」研修 現地案内

日時：2012年10月19日(金) 9:00～11:30

場所：六甲砂防事務所、^{やきがはら}焼ヶ原地区斜面对策（住吉川上流）など

JICA（独立行政法人 国際協力機構）が行っている「気候変動への適応」研修の一環として、アジア・アフリカ・中南米など各国 13 名の研修生が六甲砂防事務所を来訪されました。

事業の説明では、「砂防えん堤は、どれくらいの数を造っているのですか？」という質問があり、「昭和 13 年の阪神大水害の時のような豪雨が発生しても、市街地が土砂災害による被害を受けないことを目指して、砂防えん堤を整

備してい

る。現状ではまだ砂防えん堤は足りておらず、今後も整備していく必要がある。」と説明しました。

現地案内では^{やきがはら}焼ヶ原地区斜面对策など、急な斜面を安定させる工事を行いながら、出来るだけ樹木を残そうと取り組んでいる様子を見学していただきました。

今回の研修内容を、自国の防災対策にも役立てていただけるのではないのでしょうか。



砂防事業の説明



土石流実験



^{やきがはら}焼ヶ原えん堤



^{やきがはら}焼ヶ原地区斜面对策